

令和4年10月 定例教育委員会会議録

開催日	令和4年10月25日(火)
開催場所	半田市役所 庁議室
出席委員	教育長 鈴川慶光 委員 桂優子 委員 新美大 委員 久米宏和 委員 正村日登美 委員 堀崎隆資
説明のため出席した職員	教育部長 岩橋平武 学校教育課長 森田知幸 主任指導主事 鈴木康弘 指導主事 高下隆史 給食センター所長 前田成久 生涯学習課長 青木美希 スポーツ課主幹 長坂壮浩 図書館長 山下由美 博物館長 関正樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当副主幹 渡辺 富之
協議事項	(1) 令和5年度儀式等の日程について (2) 市長からの提言について
報告事項	(1) 寄附、後援願について (2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (3) 3か年実施計画事業(令和5～7年度)について (4) 半田空の科学館プラネタリウム招待券の発行について (5) 必要課題講座「今、大切な「聞く力」について (6) はんだシティマラソン2022のエントリーについて (7) 令和4年度ミニテニス教室について (8) 「おたのしみ会」の開催について (9) 亀崎図書館「としょかんまつり」の開催について (10) 亀崎図書館「ぐりとぐらのカステラを作ろう」の開催について (11) 「半田市内小学校3年生の博物館見学」について (12) 博物館講座「ハーバリウムづくり」について (13) 「第37回半田市博物館友の会合同展」について
各課事務連絡	「半田の山車ガイドブック(2022～2026版)」の配布について

〈 開会 10時00分 〉

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 9月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長)</p> <p>9月27日 半田市は日本福祉大学と協定を結んでおり、先日、日本福祉大学包括連携協議会が開催された。</p> <p>現在、学生にボランティアで小中学校に来ていただいているが、現場では教員不足が非常に大きな問題になっており、日本福祉大学には可能な限り教員を養成して派遣していただきたいとお願いした。</p> <p>また、今後、土日の部活動を廃止していく中で、市内にある大学の強みを活かし、学生が指導者として活躍できる取り組みの検証や様々な協議を重ねながら、連携していく必要がある。</p> <p>9月28日 半田市総合教育会議では、この後の議題にもあるが、幸せ教育について議題となった。教育委員会として学校現場で、どのように進めていくかを検討していきたい。</p> <p>10月5日 知多地方教育事務協議会が主催する研修会があった。講師を務められた上智大学の奈須教授の提言していることはわかりやすく、現場に近い意見を言っている人だと感じ、良い研修だった。</p> <p>10月6日～ 校長面談を順次行っており、主に来年度の人事異動について、校長先生方の考えを聞いている。今後12月にある知多教育事務所との面談で要望していく。併せて市の職員（用務員や支援員）についても、課長と校長先生方が、現状を報告し合いながら、来年度どのようにするか話し合っている。</p> <p>10月14日 半田東高校3年生の教育コース17名の卒業研究発表会があった。</p> <p>教育課題について個人でテーマを決め、様々な調査をする中で日本福祉大学の先生に助言をいただきながら研究を進めてきた。</p> <p>具体的には教員不足、日本語指導が必要な子どもたちの問題、不登校等の問題について、高校生なりによく調べて発表しており、生徒たちも貴重な経験の場となっていた。</p> <p>意見交換では、今後の進路等、一部の高校生の思いを聞くことができ、教員不足の一助になるように進んで欲しいと思った。</p> <p>10月18日 市内で最も新しく建設されたさくら小学校で20周年の記念行事が行われ、記念式典とピアノ演奏会があり、児童は喜んでた。</p> <p>また、来月は乙川小学校150周年記念式典があり、「乙川地区」のことを学年ごとに調べ、「乙川地区」が今後どのようになつたらよいかを考える等、記念式典でシンポジウムを企画している。</p> <p>半田市の重点目標に「地域とともに」を掲げている中で、とても良い取り組みだと思う。</p> <p>今後、各校で地域との繋がりを深めていけるような取り組みをしていければと改めて思った。</p>

	<p>10月22日 全国山・鉾・屋台保存連合会総会亀崎大会が3年ぶりに開催された。</p> <p>総会の開催とともに、新聞にも掲載されたが、亀崎中学校の生徒が堤防にパネルを貼るなど、亀崎の人たちの熱い思いが全国に広がる機会となった。</p>
<p>3. 議題 協議事項 1) 令和5年度 儀式等の日程 について</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>愛知県都市教育長協議会より、令和5年度の小中学校の入学式、始業式、終業式、卒業式の日程が示された。その日程に従い、半田市の幼稚園、小中学校における令和5年度の儀式等の日程案を資料のように提案したいとするもの。</p> <p>(久米委員)</p> <p>入学式等へ教育委員は出席することでよいか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>予定しておいていただきたいが、コロナ禍の影響で急きょ参加いただけなくなることもあり得る。</p>
<p>2) 市長からの 提言について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>9月28日開催された半田市総合教育会議において、市長から説明があった「幸せになるための教育の実現」について、依頼文書を受理した。</p> <p>依頼の内容は、教育現場で取り組むことをお願いするもので、市長への提言書は資料のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、半田市において「幸せになるための教育」を考えて実現していくこと 2、幸せになるための教育」を実現していくやり方は、各学校、各教員が主体的に自由に考え、進めていくこと 3、教育現場で「幸せになるための教育」を実施しやすい環境整備に努めること <p>この提言のとおり進めることとしてよいか協議をお願いしたい。</p> <p>(新美委員)</p> <p>提言に沿って進めることに異議はないが、具体的にいつからどのように実施するか検討していることはないか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>具体的にどのように進めていくかは、市長からの提言から間もなく、現時点では構想段階ではあるが、例えば、教育委員会として各校が年間を通して「幸せ」をキーワードに教育活動を進めることを推奨したり、「幸せ」に特化した取り組みを行う強化週間を創設することを提唱するなど、各校での様々な取り組みを実践し、蓄積していきたいと考えている。いずれにしても、具体的な方策等は教育委員会において協議、相談して進めていきたい。</p>

	<p>(新美委員) 具体的な方策等を決めていくために教育委員も全面的に協力していくので、適宜協議等しながら進めていただきたい。</p> <p>(教育長) 半田市教育委員会が、年度の重点目標として掲げているキャリア教育や地域と共にという指針も「幸せ」になるための結びつきがあるため、そこを整理して「幸せ」というキーワードを可視化し子どもたちや学校に、イメージ（浸透）させること等も考えていきたい。</p> <p>(堀崎委員) 子どもの幸せも大切だが、教員の幸せも考えていただきたい。</p> <p>(主任指導主事) 子どもが幸せであるためには、教員の幸せも不可欠であることは、「幸せになるための教育を実現する会議」においても議論されてきた。提言にあるように、環境整備の充実に紐づけ教員の幸せについても取り組んでいきたい。</p> <p>(学校教育課長) 小学校の教科担任の補充や教頭先生が担っているPTAや地域の連携等の様々な事務処理に会計年度任用職員を雇うことで負担軽減できないか検討しており、教員の幸せの一助として取り組んでいきたい。</p> <p>(主任指導主事) 子どもたちと多く関わりを持てることを教員は望んでいるので、子どもたちと向き合う時間を生み出すことで教員の幸せにつなげていきたい。その時間をできるだけ作っていききたいと考えている。</p> <p>(教育長) 市長からの提言については、提案があったような形で進めていくということでよろしいか。</p> <p>(全委員) 承認</p>
<p>報告事項 1) 寄附、後援願等について</p>	<p>(学校教育課長) ・7団体より寄附。 (内訳：サッカーゴール、ビックファン、巧技台、会誌、画帖、現金) ・16件の後援名義を許可。</p>
<p>2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動</p>	<p>(指導主事) 令和4年9月17日～10月20日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：3件</p>

<p>等について</p>	<p>9月24日(土) 1件 9月29日(木) 1件 10月17日(月) 1件 問題行動(被害)等: 4件 9月19日(木) 1件 10月3日(月) 1件 10月18日(火) 1件 10月19日(水) 1件 交通事故以外の事故: 2件 9月27日(火) 1件 9月28日(水) 1件 学校等被害: なし 不審者情報: 1件 10月14日(金) 1件</p>
<p>3) 3か年実施計画事業(令和5~7年度)について</p>	<p>(学校教育課長) 令和5年度から7年度までを対象とする3か年実施計画が公表された。</p> <p>No.1 切れ目のない支援体制整備充実事業は、今年度から既に実施している事業で、主に医療的ケアを必要とする児童生徒及びその保護者の負担を軽減するもので、介護者や介助員の看護師や介助員を配置するなど、支援体制を整備する事業。</p> <p>No.3 ICT教育推進事業は、1人1台のパソコンを有効的に活用できるように計画するコンサルティング業務委託である。</p> <p>No.4 学校生活支援事業は、継続的に行っているもので学校生活において支援を必要とする児童生徒に対して、適切な支援を行うための、職員等を配置し、学校生活の安定及び教育環境の向上を図る事業。</p> <p>特別支援学級の児童が増加していることに伴い、特別支援学級補助員を増員している。</p> <p>No.6、7 小中学校情報機器整備事業は、1人1台パソコン整備にかかるもの。GIGAスクール関係で、全体の3分の1のパソコンのリース代を始め、ICT支援員やソフト使用料など、毎年かかる必要経費を計上している。</p> <p>No.9 乙川中学校改築等事業は、予定どおり、令和4年度の3学期から供用を開始するもの。令和5年度には、旧校舎解体後の運動場整備のほか、外構整備にかかる費用を計上している。</p> <p>No.10 亀崎小学校改築等事業は、乙川中学校に続き、老朽化した校舎を改築する事業で、現在、基本設計作成中である。</p> <p>令和5年度に実施設計と仮校舎への引っ越しを行い、令和6年度からは、新校舎の建築工事を開始するもの。</p> <p>No.11 乙川東小学校改築等事業は、乙川中学校、亀崎小学校に続き、老朽化した校舎を改築する事業。</p> <p>令和7年度に基本設計を作成し、令和10年度中の開始を目指す。</p> <p>No.12、13 小中学校施設保全事業は、更新予定時期が10年以上先の小中学校について、安全安心への対応を最優先に、予防保全の改修工事をするもの。</p> <p>No.16、17 小中学校特別教室等空調機器設置事業は、改築予定の学校を除く小中学校の特別教室等に空調機を設置し、教育環境の向上を図るもの。</p> <p>令和5年度から令和7年度の3年間で、特別教室を始め、使用頻度の高い教室</p>

に順次設置していく。

No.18 小学校水泳授業指導補助委託事業は、小学校の体育で行う水泳指導を業務委託することにより、天候等に左右されず、質も高い水泳指導を実施する。また学校のプールの解体により、維持費の削減と同時に、公共施設の有効活用を図る。

令和5年度は、花園小学校で実施。令和6年度からは、花園小学校に加えて、成岩小学校、亀崎小学校で実施する予定である。

(給食センター所長)

No.1 新学校給食センター建設事業。現在の学校給食センターは、施設や設備の老朽化が進んでいる。

また、古い構造のため衛生管理上の改善も課題となっているため、令和6年9月から供用開始する予定で事業を進めており、令和5年度、6年度に建設、令和7年度に現センターの取り壊し費用を計上。各年度の事業費は、記載のとおり。

No.2 学校給食調理委託事業は、例年は経常事業として3か年事業とはしていないが、令和7年度から亀崎幼稚園を除く公立幼稚園5園に給食を提供していくため、今年度から3か年事業化したもの。令和5年度は現給食センターにおける調理委託、令和6年度は7月分までが現センター分、同年9月からは新学校給食センターにおける調理委託、更に令和7年度は新学校給食センターで幼稚園分を含めて調理を行っていく。それぞれの年度の委託金額は、記載のとおり。

No.3 市立幼稚園給食配送委託は、令和7年度から実施する幼稚園の給食を給食センターから各園へ配送・回収する事業で、民間企業に委託する費用を計上しており、事業費は940万円としている。

(生涯学習課長)

No.1 成岩公民館改築等事業は、老朽化した成岩公民館を成岩小学校プール跡地に移転、改築するもの。昨年度の計画では、令和5年度にプール解体工事を計上していたが、改めて現状把握をした結果、解体時にプール東側の土留対策を行う必要が出てきたため、プール解体工事及び土留対策工事を令和6年度に計上し直した。令和5年度は、土留対策工事の基本・実施設計と測量・地質調査を実施する。

No.3 空の科学館、体育館施設等改修事業について、空の科学館は昭和60年に開館し、37年が経過。経年劣化により傷んだ施設や備品の改修を計画的に実施する必要があり、令和5年度はプラネタリウム昇降装置を修繕する。

No.4、5 文化芸術普及推進事業、および音楽のあるまちづくり事業について、文化芸術普及推進事業では、「半田市文化芸術推進計画」に基づき、市民が文化芸術に興味を持つきっかけをつくったり、親しみを深めてもらったりすることを目的として、身近に文化や芸術に触れ、体験できる事業を展開する。文化芸術に興味がなかった方に、その魅力を感じてもらう第一歩となる機会の提供と、子どもや親子が文化芸術に触れられる機会を創出しようとするもの。

音楽のあるまちづくり事業では、音楽文化を半田市の文化振興全体の中心に位置づけ、セントラル愛知交響楽団との協定に基づく事業を実施する。また、音楽をあらゆる場面、方法で活かし、特定の人々だけでなく、広く普及させることを主軸に事業展開していくため、令和5年度は、子どもや親子向けに、ワークショップをセットにしたコンサートを

実施し、鑑賞だけでなく学び・体験につなげることで、より興味関心を深めていく。

(スポーツ課主幹)

No. 1 大学地域連携スポーツ推進事業

本事業により、総合型地域スポーツクラブのあり方や健全な運営に関する研究や相談、またはマネジメント講習等を実施することで、各スポーツクラブのウィークポイントをケアし、大学や教授が持つ知識や経験、そして専門性を活かした対応策を提案のもと、安定的な運営の実現を図ります。また、スポーツクラブに対し、指導者やスタッフとして学生を派遣し、地域人材の育成や発掘を行うとともに、指導者不足の解消を目指す。

No. 2 半田運動公園改修事業

運動公園の老朽化した設備、器具等を計画的に更新し、安全かつ快適に利用できるよう施設の改修をします。令和5年度の陸上競技場の発電機改修、令和6年度は公園内の受電源施設の一部改修、令和7年度は非常用放送施設の改修を行う。

No. 3 半田福祉ふれあいプール改修事業

半田福祉ふれあいプールの老朽化等による修繕を計画的に実施する。

令和6年度に幼児用プールのエアコン用冷温水発生器を改修する。

No. 4 総合型地域スポーツクラブハウス改修事業

令和6年度に成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス（成岩ウイング）について、施設の維持、耐久性を確保するための改修を実施する。

No. 5 半田上浜グラウンド改修事業（令和7年度）

令和5年度に半田上浜グラウンドの防球ネットを改修します。現行ネットは10mの高さがありますがその上を飛び越えて、ボールが隣地に入ってしまうため一部のネットをかさ上げする。

No. 6 体育施設管理車購入事業

各施設の巡視や事務連絡のために使用している施設管理車の老朽化に伴う更新にあたり、環境負荷の低い電気自動車を導入する。スポーツ課では市内の各スポーツ施設の整備、巡視や物品の補充、指定管理施設や市役所などとの事務連絡を目的として6台の車両を持っている。令和7年度に更新を予定している車両は、新車登録から15年を経過した軽自動車1台です。園内を走行するため騒音や排気ガスに配慮が必要なこと、1日の走行距離が最大でも50km程度であること、充電設備の整備と管理が行えることから、軽自動車規格の電気自動車を購入する。

(図書館長)

「地域資料等デジタル化事業」は、令和6年度に新規事業として実施するもの。貴重資料の保存、利用者の利便性向上と業務効率化を図るため、所蔵する郷土資料などをデジタル化するための費用を計上したもので、主に資料のスキャニング費用となる。また、公開可能な資料については、はんだ電子図書館にて公開していく予定。

(博物館長)

No. 1 「図書館、博物館施設等改修事業」は、老朽化した設備・機器等の改修を行い、施設の適切な管理を行うもの。令和 5 年度は更新時期を迎える S O G (地絡継電器) の取替えと、図書館・博物館建物が今後 4 0 年使用できるかどうか建物の躯体などの調査を行う。

調査の結果により、建物が大丈夫ということであれば、今後の大規模改修に向け、令和 6 年度に基本設計業務委託、令和 7 年度に実施設計業務委託を計画している。

No. 2 「企画展開催事業」では、5 年度は、企画展として「新美南吉生誕 1 1 0 周年記念展「童話にみる昔の道具」、館蔵品展として第 9 回はんだ山車祭り関連の展示等を行う。

「童話にみる昔の道具」では、南吉童話に出てくる農機具など仕事道具を中心に展示する。

No. 4 「旧中埜家住宅整備事業」では、公開活用を拡充していくため、洋風家具の購入や展示制作などを行い、令和 5 年度の展示制作は棟札の複製を作成する。

(南吉記念館館長)

No. 1 令和 5 年度の新美南吉生誕 1 1 0 年記念事業は、生誕祭のメイン行事として行う市内小学生による「ごんぎつね」の朗読会、映像コーナーに関する展示リニューアルの二期工事、来年度一年間、ストップモーションアニメごんを南吉記念館やその他公共施設、市が関連するイベントなどで上映するための権利料の経費になる。

No. 2 令和 7 年度実施の新美南吉記念館外壁塗装事業。これは建設から 3 0 年近くが経過した記念館の建物を長寿命化と美観維持のため、外壁への保護材塗装、建具や窓の鉄でできている部分の塗装とシーリング打ち直しを行うためのもの。

(新美委員)

小中学校施設保全事業で令和 5 ～ 7 年の 3 か年のうち工事費が、小学校は 6 年度、中学校は 7 年度に多くの金額が占めている理由はあるか。

(学校教育課長)

改築更新工事を順次進める中で、更新時期が 1 0 年以上の学校で、かつ、優先順位等を検証する中で、年度によって工事額に偏りが生じたもの。

(桂委員)

現在の医療的ケアが必要な児童、生徒の支援状況はどのようになっているか。

(学校教育課長)

中学校に 1 名 (その他に 6 名把握) の生徒に看護師と介助員が支援にあたっている。介助にあたり配慮すべき点など多くあるが、大きな問題はなく支援ができています。

<p>4) 半田空の科学館プラネタリウム招待券の発行について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>3 か年実施計画の市長査定において、「空の科学館の利用促進方法を検討すること」と意見があった。現時点では、空の科学館の指定管理者であるアクティオが、利用促進につながる様々なイベント・事業を実施しているが、企画部門と施設管理業者であるアクティオと検討して、「招待券」を発行することとした。</p> <p>招待券の目的は、「市長及び教育長が市内外各所を公務等で訪問した際に、関係者にプラネタリウム招待券を手渡すことで、半田空の科学館のPRを図り誘客につなげる」ことにある。招待券のデザインはアクティオにお願いし、現在は1枚につき何名まで有効にするかを調整中。調整が付き次第、招待券を発行し、利用促進につなげていく。</p> <p>(新美委員)</p> <p>招待券を発行する目的が、プラネタリウムの稼働率を向上させることであるならば、市民に無料開放する日を設定するほうが効果的ではないか。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>半田市をPRするツールとして招待券を手渡したい市長の想いと運営する側のアクティオと無料招待すべき範囲等を協議するなかで決定したものだ。</p> <p>(教育長)</p> <p>南吉記念館では既に同様の招待券を発行しており、県内の教育長会議等でPRをしている。</p>
<p>5) 必要課題講座 今、大切な「聞く力」について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>日本福祉大学との共催講座。傾聴ボランティアの基礎知識を中心に、人と関わるうえで欠かすことのできない「聞く力」について学ぶことで、福祉分野を中心としたリカレント教育（学び直し）を実施し、新たな自分づくりや地域社会への参加支援の一助とすることを目的に実施する。</p> <p>市報11月号へ掲載するほか、社会福祉協議会・日福へもチラシを配布し、周知を図っていく。</p>
<p>6) はんだシティマラソン2022のエントリーについて</p>	<p>(スポーツ課主幹)</p> <p>申込件数、当選件数、参加決定件数を報告。</p> <p>一般的にマラソンといえば、競技性という面もあるが、今回はリレーマラソン形式を採用したこともあり、男女混合部門等の参加チームが多く、コロナ禍でもみんなで一緒に楽しくスポーツをしようという思いをもって参加いただける方が多かったのではないかと分析している。シリアスソロ部門では参加決定の段階で、人数が減少していますが、このシーズンになると各地でこういった大会が開催されるため、いくつかの大会を申し込むも、他の大会への参加を優先される場合もあり、減少しているものと捉えている。</p> <p>大会当日、8時40分から開会式を開催する。教育委員の皆様は8時15分頃</p>

	<p>を目安に陸上競技場内にある来賓等受付までお越しいただきたい。駐車場は第2駐車場をご用意している。先日送付した駐車許可証を提示いただきたい。今回は運動公園周辺の交通規制はありません。服装につきましては、スーツもしくはジャケットにノーネクタイ。当日、教育長には開会式の閉式の辞をお願いしたい。また、教育委員さんには各部門の入賞者への賞状やメダル等の授与をお願いしたい。</p> <p>(新美委員) 他市町ではコロナ禍の影響で表彰式を取りやめる大会もあるが実施するのか。</p> <p>(スポーツ課主幹) 感染予防等配慮し実施する。</p> <p>(久米委員) 終了時間を含め、当日の流れなどを教えてもらいたい。また、案内も遅かったため次回以降は早めの案内をお願いしたい。</p> <p>(スポーツ課主幹) 申し訳ありません。詳細は追ってご連絡いたします。</p>
<p>7) 令和4年度ミニテニス教室について</p>	<p>(スポーツ課主幹) 令和4年12月4日(日)から令和5年2月26日(日)において、12月25日、1月1日を除いた毎週日曜日にさくら小学校体育館でミニテニス教室を開催する。半田市スポーツ推進委員が講師を担い、初心者でも気軽に参加できる教室となっている。</p> <p>ミニテニスは年齢を問わずだれでも楽しむことができるニュースポーツの一つで、全国で多くの人に親しまれている。そのラケットは、通常のテニスラケットより短く軽いため扱いやすく、普段運動をしない方でも気軽にプレーすることができる。ボールも空気を入れたビニール製で、当たっても痛くなく、回転もかかりやすいため戦略的なプレーが楽しめる。</p> <p>市報の11月号にも案内を掲載し、令和4年11月4日(金)から11月21日(月)まで定員20名とした参加者を募集する。</p> <p>(堀崎委員) 市報による参加者を募集するのであればスポーツ保険に加入していることも掲載してもらいたい。</p>
<p>8) 「おたのしみ会」の開催について</p>	<p>(図書館長) 本館にて、「おたのしみ会」を開催する。12月10日(土)14時30分から、図書館2階会議室で「きりんの会」の皆さんが大型紙芝居の読み聞かせやパネルシアターなどを上演。定員40名で11月24日から先着順で申し込みを受け付ける。</p>

<p>9) 亀崎図書館 「としょかんまつり」 の開催について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>11月27日(日)に亀崎公民館2階で「としょかんまつり」を開催する。たくさんの人に図書館ボランティアの活動を知っていただくとともに、図書館に親しみを持っていただくことを目的に開催するもの。コロナ対策のため午前・午後の2部制とし、定員を決めて事前申込制とする。午前の部は3歳以下のお子さんとその家族が対象で、読み聞かせやパネルシアターの上演など。午後の部は年齢等の制限は設けず、読み聞かせやストーリーテリングなどのほか、工作や録音体験も楽しめる。日本福祉大学の学生さんの協力で、一緒に遊ぶコーナーもある。11月1日から15日まで申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選とする。</p>
<p>10) 亀崎図書館 「ぐりとぐらのカステラを作ろう」の開催について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>絵本「ぐりとぐら」に出てくるカステラを作り、焼きあがるまでの間に読み聞かせを楽しむ内容となっている。12月11日(日)午前・午後の2部制で行う。4歳から小学4年生のお子さんとその同居の保護者が対象。各部定員は5組で14名まで。参加費は1組300円。11月22日から29日まで申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選とする。</p>
<p>11) 「半田市内 小学校3年生の 博物館見学」に ついて</p>	<p>(博物館長)</p> <p>この事業は、10月19日(水)から11月4日(金)までの間で、市内13小学校の3年生児童のみなさんに、郷土学習の一環として博物館を見学していただくもの。先週、亀崎・さくら・雁宿・乙川小学校の4校が終了し、残り9校となっている。</p> <p>この見学では、(令和元年度に制作いたしました映像ソフトを活用して)半田のまちの学習を行うとともに、常設展示室の見学や、米づくりの道具を始め、わらじ、蓄音機、ダイヤル式の黒電話など、昔の道具について学芸員が解説していく。</p>
<p>12) 博物館講座 「ハーバリウムづくり」について</p>	<p>(博物館長)</p> <p>12月17日(土)に、博物館講座「ハーバリウムづくり」を開催する。</p> <p>ハーバリウムとは、専用オイルの入ったガラス瓶に乾燥した花や植物標本などを入れて飾るインテリアである。</p> <p>押し花とは違い、透明感のある立体的な姿を楽しむことができることから、最近人気となっている。</p> <p>この講座は、知多半島内でフラワーアレンジメントの講師をされている近藤水名子(みなこ)さんを講師に迎え、人気のハーバリウムを制作する新講座である。</p>
<p>13) 「第37回 半田市博物館友 の会合同展」につ いて</p>	<p>(博物館長)</p> <p>12月3日(土)から12月25日(日)までの間、「第37回半田市立博物館友の会合同展」を開催する。</p> <p>今年で37回目を迎える本展では、博物館友の会の6つの部会、「拓本」「はたおり」「染色」「陶芸」「古文書」「歴史」部会の活動成果をご覧いただくため、部会員が制作した作品を中心に展示する。</p>

<p>各課事務連絡 「半田の山車ガイドブック（2022～2026版）」の配布について</p>	<p>（博物館長） このガイドブックは、10月22日・23日に行われた「全国山・鉾・屋台保存連合会総会亀崎大会」に来られた全国の祭り人の皆さんにも配布し、来年開催される「第9回はんだ山車まつり」のPRを行った。</p>
<p>えと人形に絵付けをしようについて</p>	<p>（南吉記念館長） 素焼きの干支人形を使った絵付けの会。 人形は地元の伝統工芸である乙川人形を使用する。 12月3日（土）4日（日）の両日に午前・午後で行う。 南吉記念館は11月7日から工事の為、臨時休館中ですので博物館で会場を借りての開催。受付は11月5日から。</p>
<p>半田市美術展について</p>	<p>（生涯学習課長） 22日（土）に第75回半田市美術展の作品搬入があり、最終の出品数が、合計293点であった。昨年の合計253点から40点の増加ということになった。 23日（日）に作品審査も終え、審査委員の先生の言葉をお借りすれば、出品数が増え、素晴らしい作品ばかりのため審査が大変だった、また、各地で審査をされている先生からは、半田らしい作品が多く、その土地の特徴が現れているとのこと。 今週金曜日から日曜日まで雁宿ホールで開催する。また、アールブリュット展も同じ期間に併催されるため、ぜひ足を運んでいただきたい。</p>
<p>委員からの意見提言等</p>	<p>（正村委員） 学校訪問で、歴史ある学校を訪問させていただいた際に、とてもすばらしい絵画や歴史的に価値の高いものと思われる掛け軸等、学校の中に展示をされていたので、卒業生や地域の方等、目に触れてもらう機会があってもいいのではないかと。また、簡単に子どもたちが触れるようになっているが、価値のあるものなら管理等も必要なのでは。 見る人が見たらすごい資料の可能性もあり、学校に眠っているのはもったいないと感じるため、地域の方と共有出来たら良いのではないかと思います。</p> <p>（学校教育課長） 市の博物館の職員にも見てもらい、確認をさせていただく。</p> <p>（堀崎委員） 学校メルマガで、部活動検討についての内容が流れたが、部活動検討についてのアンケート内容と地域移行へのロードマップがどのように進んでいくのか教えていただきたい。またアンケート結果を見せていただくとありがたい。 地域移行とした際の問題として必ず提議されてるのはお金の問題で、どの地</p>

域も主となる財源確保に苦慮している。個々のボランティア精神を頼りにしては継続できないことは明白であり、部活動検討には必須な検討事項となる。

(学校教育課長)

ロードマップについては、令和 5 年度、早い段階で皆さんにお示しできるように準備をしているところである。

(教育部長)

新聞等でも報道されているが、スポーツ庁や文科省から、学校部活動を地域に移行することが示されている。

文科省は、現時点で土日の部活動は廃止し、地域で子どもたちの受け入れ先を準備していく方針を打ち出しているが、半田市を含め多くの自治体では、子どもたちの自主的、自発的な活動により得られる喜びや生きがい、また、学校生活を豊かで充実したものに、という視点を持って検討を進めている。

文科省の最終目標は、土日だけではなく平日も学校は部活動をやらず、地域で受け入れていく方針である。

現在は、その第一歩として、現状の部活動の形を残しながら、土日の子どもの受け入れ先を作っていく段階である。

半田市では教育委員会だけではなく、議会の文教厚生委員会においても協議が進められ、1 2 月議会において市への提言が予定されている。

先日、PTAと教育委員会の連名でアンケートを行い、教員や保護者、また当事者である子どもたちの意見やニーズを集めた。今後は、議会からの提言もいただきながら、早ければ令和 5 年度には、モデル的にもできることから、土日の子どもたちの受け入れ先を準備できるよう進めていきたい。

冒頭の教育長の挨拶にもあったが、現在、日本福祉大学と連携して部活動についての協議をしている中で、堀崎委員の言われるとおり、地域での受け入れにおける大きな課題として「人材と財源」の問題を指摘されており、必須の課題だと認識している。

今後は、具体的にどの部分にどのような人員や金銭が必要なのか議論を深めていくために、現在調査等を行っており、必要な予算化など検討したい。教育委員会にも諮っていく。

(正村委員)

地域での受け入れ先の中心として各スポーツクラブとなってくると思われるが、文化系の活動はできなくなるか。

(教育部長)

総合型地域スポーツクラブの概念にはスポーツだけではなく、文化に関することも入っているため、将来的には一翼を担うことも考えられる。しかしながら現実的にはスポーツクラブによる文化活動は幅広く活動できていないため、文化協会などの既存の団体等へお願いすることも考えていきたい。

(久米委員)

来年度より制服が変わるが、新2、3年生は新たな制服が着られないのか。

(主任指導主事)

希望する生徒は新たな制服も着られる。また、新1年生も現在の学生服やセーラー服を着ることもできる。

(桂委員)

先日、市役所にて先生方が主体で行われた「不登校」がテーマの研修会に参加した。

先生方が日々悩まれている、そこに答えはあるわけではないが、同じように悩んで頑張っている先生の姿を見て、また明日から頑張ろうと勇気づけられるような会であったので今後も続けてもらいたい。

また、研修会でもあったが、私自身も勉強がネックになっていたり、諦めている等、苦しんでいる子どもたちの姿を見ると、彼らにどんな学び方があるのか、または必要なかを考えている。その中で「個別最適な学び」については重要で必要性は感じているが、一方で学校現場にて実践していくことの困難さも同時に理解している。今後、半田市はその様な方向に進んでいくのか。

(主任指導主事)

子どもがどのように学ぶべきか学び方を身につけさせていくことできる場所が学校現場だと思う。

何を学び、どのように身につけていくかは学習指導要領をベースにしながら、一人一人が自分に合った学び方を選べる力をつけさせていくことが必要と考えている。その選択肢の一つの例として、タブレットを活用して家庭で学習したことを学校に提出して、それを評価することなど様々なことが考えられる。

そのような学び方について、教員も勉強しなければならないし、まだシステムを作るには、知識も経験も足りないが、子どもたちが自分で学び方を選択していきける力をつけさせ、社会に出たときに必要な生きていく力を身につけてあげたい。

授業が苦しい子たちもたくさんいるが、各中学校にはサポートルームがあり、少

	<p>し疲れた子たちが来る場所を用意して対応しているため、学校と繋がりながら生活ができている子が増えている。</p> <p>半田市としては、課題もあるが、カウンセラーを配置したり、時間増やしたり等、様々な対応をしている。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>1 1月定例教育委員会 日時：1 1月22日(火) 10時00分～ 場所：半田市役所 庁議室</p> <p>1 2月定例教育委員会 日時：1 2月21日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室402</p> <p>1 月定例教育委員会 日時：1月25日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室303</p> <p>(教育長)</p> <p>1 0月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 12時00分 〉